

明舞団地シンポジウム 報告

日 時 平成 29 年 11 月 26 日 (日) 14 時 00 分～16 時 14 分 (於：松が丘ビル 3 階 大会議室)
主 催 兵庫県・兵庫県住宅供給公社

「明舞団地まちづくり計画の策定について」をテーマに、明舞団地の未来を考える「明舞団地シンポジウム」を開催しました。

■ 明舞団地まちづくり計画の説明

明舞まちづくり委員会のコアメンバーである兵庫県から、新たに策定された「明舞団地まちづくり計画」の概要について説明がありました。

■ 学生によるフィールドワークの取組発表

兵庫県立大学の学生ほかから、「コミュニティ・プランナープログラム 1 年目の成果」について、神戸学院大学の学生から、「サービスマーケティング実習を明舞団地で行って」について報告がありました。

■ パネリストによる活動紹介(竹の台地域委員会)

竹の台地域委員会から、西神ニュータウン竹の台地区におけるまちづくりの取組について報告がありました。

■ パネルディスカッション

説明・発表内容を踏まえ、意見交換しました。また、来場者から質問カードにより質問を受け付け、パネリストが応答しました。

■ 明舞団地の未来について(総評)

小森名誉教授から、「明舞団地は未だに当初の姿を残しているため、「これまでの明舞」を見れば、日本のニュータウンの将来を予測することができるのではないか。学生には、昔ながらの子供たちの遊び、お祭りなどの共同作業にも目を向けるとともに、AIを活用して、企業に新しい高齢者の過ごし方を提案してほしい。シェアリング・エコノミーの一つの提案として、明舞団地の解体予定の古い戸建住宅を活用して、昭和の団地の暮らしが一目で分かる「昭和の暮らし博物館」を造ってみてはどうか。」との御意見を頂きました。

